

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2005-280094(P2005-280094A)

【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-97277(P2004-97277)

【国際特許分類】

<b>B 4 1 M</b>	<b>5/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 M</b>	<b>5/50</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 M</b>	<b>5/52</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>D 2 1 H</b>	<b>19/36</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>D 2 1 H</b>	<b>27/00</b>	<b>(2006.01)</b>
<b>B 4 1 J</b>	<b>2/01</b>	<b>(2006.01)</b>

【F I】

<b>B 4 1 M</b>	<b>5/00</b>	<b>B</b>
<b>D 2 1 H</b>	<b>19/36</b>	<b>A</b>
<b>D 2 1 H</b>	<b>27/00</b>	<b>Z</b>
<b>B 4 1 J</b>	<b>3/04</b>	<b>1 0 1 Y</b>

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月18日(2006.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明に係わるジルコニウム化合物とは、ジルコニウムの水溶性無機塩や有機酸塩だけでなく、光沢発現層の形成時に脱炭酸化等の化学反応を受けて変成したジルコニウム化合物(例えば、水酸化ジルコニウム等)も含まれる。水溶性ジルコニウム塩としては、具体的に $ZrO(OH)Cl$ 、 $ZrOCl_2 \cdot nH_2O$ 、 $Zr_2O_3Cl_2$ 、 $ZrCl_4$ 、 $ZrCl_3$ 、 $ZrCl_2$ 、 $ZrBr_4$ 、 $ZrBr_3$ 、 $ZrBr_2$ 、 $ZrI_4$ 、 $ZrI_3$ 、 $ZrI_2$ 、 $ZrF_4$ 、 $ZrF_3$ 、 $ZrF_2$ 等のハロゲン化物塩類、 $Zr(NO_3)_4 \cdot nH_2O$ 、 $ZrO(NO_3)_2 \cdot nH_2O$ 、 $Zr(SO_4)_2$ 、 $Zr(SO_4)_2 \cdot nH_2O$ 、 $ZrO(SO_4)$ 、 $Zr(H_2PO_4)_2$ 、 $ZrP_2O_7$ 、 $ZrSiO_4$ 、 $ZrO(CO_3)_2 \cdot nH_2O$ 、 $ZrO(CO_3)_2(NH_4)_2$ 、 $ZrO(CO_3)_2K_2$ 、 $ZrO(OH)_2 \cdot nH_2O$ 等のオキソ酸塩類、酢酸ジルコニウム、乳酸ジルコニル、ステアリン酸ジルコニル等の有機酸塩類等が例示され、これらは、一種または、二種以上の混合物としても使用できる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

インク吸収層塗布後に、該インク吸収層表面を平坦にするべく、各種カレンダー装置による平坦化処理をしても良い。カレンダー装置としては、マシンカレンダー、TGカレンダー、スーパーカレンダー、ソフトカレンダー等が挙げられる。この中でもインク吸収性の低下が少ないソフトカレンダー処理がより望ましい。

